

≪越谷西特別支援学校松伏分校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	高等部	R6.5.1 児童・生徒数	(男) 32名 (女) 16名	計 48名
アクセス	<p>≪松伏高校前バス停（松伏高校校門より徒歩0分）≫</p> <p>①東武スカイツリーライン 北越谷駅東口バス停発。 エコーラ行に乗車。1時間に6本程度。乗車時間20分程度。</p> <p>②JR武蔵野線 吉川駅北口バス停発。 エコーラ行等に乗車。1時間に2本程度。乗車時間は25分程度。</p> <p>③JR武蔵野線 南越谷駅南口バス停発。 東埼玉テクノポリス行に乗車。1時間に1本程度。乗車時間30分程度。</p>					
＜教育課程等＞						
<ul style="list-style-type: none"> ・教科学習の充実 中学校まで積み上げてきた基礎基本の定着と卒業後の生活に根差した学習を行います。 ・職業教育の充実 職業として「ビルメンテナンス」「農園芸」「食品加工」「オフィス作業」をすべて経験し、自分の得意の分野を見つけます。 併せて、デュアルシステムの形で職場体験を行い、実践的な経験を積みます。 デュアルシステム実習とは学校生活を行いながら、職場体験を行うものです。 適時適切に職業スキル定借の支援をできるのが特長です。 ・自立活動の充実 自立活動が全ての教育活動を支えています。 自立活動の時間を設定し、個々の課題に対して適切な支援を行います。集団や抽出（個別）の取組を行います。 						
＜学校行事・部活動＞						
<ul style="list-style-type: none"> ・校外行事 <ul style="list-style-type: none"> ①校外宿泊 (例) 1年生：校外宿泊学習（県内） 2年生：林間学校（県外） 3年生：修学旅行（沖縄） ②社会体験学習 1年生：浅草方面 2年生：東京方面 3年生：県外施設 併せて3年計画でさいたま市にある「埼玉県障害者交流センター」を利用の予定。 ・部活動 <ul style="list-style-type: none"> 運動系 運動部：県の大会に合わせてサッカー、バスケットボール、陸上に取り組みます。 文化系 書道部：様々な書体に挑戦し、展覧会出品を目指します。 器楽部：自分の好きな楽器に挑戦します。 美術部：様々な美術技法を学びながら、作品づくりに取り組みます。 パソコン部：パソコンスキルの向上を図りながら楽しみます。 						
＜家庭・地域との連携＞						
<ul style="list-style-type: none"> ・松伏高校との交流及び共同学習 <ul style="list-style-type: none"> ①松伏高校との合同の行事。(例) 新入生歓迎会、体育祭、文化祭、避難訓練 等。 ②松伏高校の授業参加。(例) 授業参加、検定の参加。 ③松伏分校の授業参加。(例) 松伏分校の「職業」等の授業参加。 ・文教大学との交流及び共同学習 <ul style="list-style-type: none"> ①松伏分校の授業、部活動参加。 ②文教大学への訪問、講義体験。 ③オンライン交流。 						
＜進路＞						
<p>松伏分校は令和3年度開校し、令和5年度に第1期の卒業生を送り出しました。</p> <p>★令和5年度の進路実績 企業就労12名、福祉的就労2名、その他の進路先2名。 「職業」「デュアルシステム実習」「産業現場等における実習」等、進路選択のための多様な取り組みを実施しています。 また、個々のニーズに応じた進路決定のための支援を行います。</p>						



埼玉県立越谷西特別支援学校 松伏分校 育成方針

《松伏分校教育目標》 自ら学び、考え、行動し、「なりたい自分を創る」

分校カリキュラム

教科指導

「国語」「数学」
 「社会」「外国語」
 「理科」「情報」
 「音楽」「美術」
 「総合的な探究の時間」
 「保健体育」「家庭」
 「職業」「自立活動」

職業教育

<学年>
 ・デュアルシステムでの職業体験
 <学部>
 ・食品加工
 ・ビルメンテナンス
 ・農業・オフィス作業

・確かな学力の定着
 ・資格取得

・社会体験学習
 ・宿泊学習
 ・部活動等

教科指導

学校行事

職業教育

交流及び共同学習

自立活動の充実



・地域との交流
 ・松伏高校との交流



決定期
 なりたい自分を見つける。

実践期
 体験し、振り返る。

基礎基本の習得②
 自分を知り何ができるか考える。

基礎基本の習得①
 働くことの意味を知る。



松伏分校の特色

①松伏高校・文教大学との連携

③自立活動の充実

交流及び共同学習
 行事等の交流

④充実した施設

②職業教育の充実
 デュアルシステム等
 による多様な職業体験

⑤ICT機器を活用した授業

⑥交通の便の良さ

⑦落ち着いた環境

⑧多様な専門家

